

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	技術倫理	
科目基礎情報							
科目番号	0070		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	環境建設工学専攻		対象学年	専2			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	指定しない。必要な資料はプリントで配布する。						
担当教員	小谷 俊博,丸岡 邦明,鈴木 聡,上村 繁樹						
到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> 一般的な倫理学理論および技術者倫理に特化した理論を理解すること 技術者の社会における位置づけおよび役割を理解すること 技術者が実際に直面した事例をもとに、どのような倫理的判断が可能かについて展望を持つことができる 							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	技術者に特有の倫理問題とは何かを明確に説明できる。		技術者に特有の倫理問題とは何かをある程度説明できる。		技術者に特有の倫理問題とは何か説明できない。		
評価項目2	技術者が直面してきた具体的な事例について明確に説明できる。		技術者が直面してきた具体的な事例についてある程度説明できる。		技術者が直面してきた具体的な事例について説明できない。		
評価項目3	倫理問題に直面した際に適切に議論することができる。		倫理問題に直面した際にある程度議論することができる。		倫理問題に直面した際に議論することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	講義により基本知識を獲得し、小テストあるいはレポート課題によりその習得を目指す。						
授業の進め方・方法	毎回テーマに沿って講義が行われる。教員によって課題や方法は異なるため、オリエンテーションを含めて必ず出席すること。						
注意点	自分が今後遭遇する可能性のある問題が扱われていることを自覚することが大切である。その上で、知識の習得と併せて、自分自身の考えを構築していこうとする努力が必要である。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0